



筋肉の元となる筋芽細胞の増殖状況を顕微鏡で確認する研究員(京都市西京区・ファーマフーズ)

## 卵白成分でロコモ予防

### ファーマフーズ 化合物 商品化へ

機能性食品素材開発のファーマフーズ(京都市西京区)が、卵白成分から、筋肉を増殖する働きを持つ化合物(ペプチド)を開発した。動物実験などを経て、1年後の商品化を目指す。筋力などが衰え、要介護状態になる恐れがある「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」の予防に役立つとみている。

ペプチドは従来の卵白研究の成果を生かし、タンパク質を酵素で分解して作った。筋力の元となる筋芽細胞に0・15%添加した結果、無添加の場合に比べ3・2倍に増殖したという。

筋萎縮を抑える働きもあるとして、今後、臨床実験を行い、食品に混ぜる機能性素材として商品化する。(生田和史)